



『宮大工新聞』

vo23
2
月号



宮大工が建てる自然素材の家「宮大工新聞」は、皆様と内田工務店を結ぶネットワークです。
京都で修業し、文化財建物木工技能者認定を受けた宮大工棟梁が手掛ける、自然素材住宅のご案内です。
安心安全な木材を使用した住宅を、皆様の手の届く価格で提供します。
日頃聞けない、宮大工ならではのお話もたくさんです。、おたのしみに！！

発行元：有限会社内田工務店
〒259-1135
神奈川県伊勢原市岡崎6682-1
Tel 0463-93-6590

■ 日本伝統建築技術保存会の棟梁認定を受けました。

平成23年度「日本伝統建築棟梁研修」認定試験成績表(米原会場)
滋賀県米原市下多良2丁目137 滋賀県立文化産業交流会館

順位	受講・聴講	氏名	生年月日	学科試験 100点満点	修了証	認定番号	備考
1	受講			80.1	○	101	
2	受講	内田幸夫	s.49.1.19	75.7	○	102	
3	受講			69.4	○	103	
4	受講			68.0	○	104	
5	受講			67.5	○	105	
6	受講			62.1	○	106	
7	受講			62.1	○	107	
8	受講			60.7	○	108	
9	受講			60.2	○	109	
10	受講			54.4	○	110	
11	受講			53.9	○	111	
12	受講			47.1	○	—	
13	受講			41.3	○	—	

試験結果です。100点満点で75.7点でした。2番とはいえ、まだまだ自分の未熟さを思い知らされました。

内田棟梁が理事を務める『選定保存技術保存団体 日本伝統建築技術保存会』で平成23年度より『棟梁研修』が始まりました。

受講資格は、日本伝統建築技術保存会の前期・後期研修認定後に7年以上の伝統建築経験者、もしくは、文化財建造物木工技能者の資格を有する者という非常に厳しい条件になり、実務経験などが条件を満たさない場合は、受講ではなく聴講という形で研修が行われました。

研修は米原で行われ、受講生13名、聴講生10名の合計23名の宮大工棟梁が日本全国から集まり、合計10日間の研修を受けました。

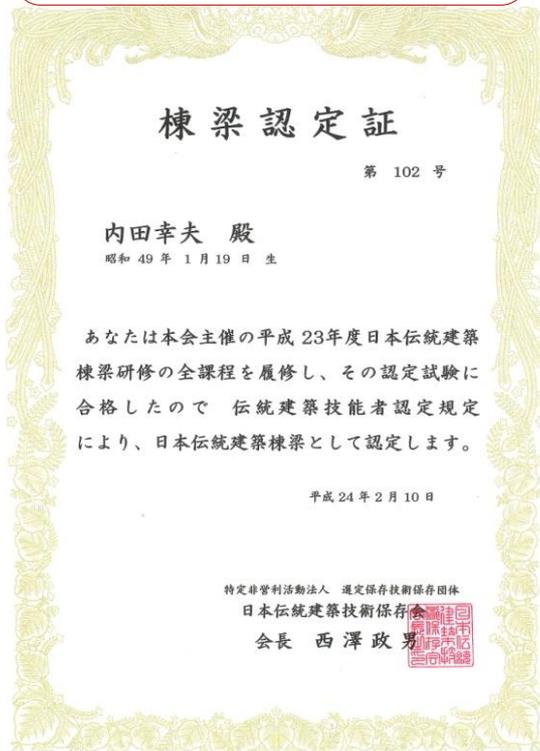
研修内容は、日本建築様式史、建築法規と木構造、銚金具、漆塗り、彩色、表具・襖、畳、建具、木材、古建築修理、実測調査、木割、設計、歩掛り・積算・見積りと、中広い分野で内容も濃く、棟梁として必要不可欠な内容になります。

最終日には、認定試験が行われ11名の受講生が認定をされました。

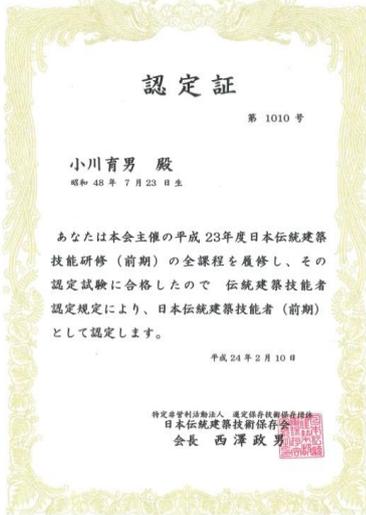
内田棟梁の結果はというと、23名中2番目の成績となりました。一番が取れなかったのは非常に悔しい限りであります。

伝統建築の世界は、まだまだ奥が深いですから、これからも一生勉強だと思って精進してまいります。

平均点60.2点とかなり難しい試験でしたが、合格点に達した認定者には認定証が渡されます。



従業員も頑張っております



当社で現場を任されている小川棟梁は、日本伝統建築技術保存会の日本伝統建築前期研修に認定されました。

前期研修では、伝統建築と文化財修理技術の基礎を学びます。

最終日には、学科と規矩術の認定試験が行われ、35名の受講生のうち25名が認定されました。

平成24年度には、日本伝統建築後期研修に参加します。

当社では、よりよい建物を創る為に、技術と知識の向上に力を注いでおります。

『埴の湧の家』現場紹介



地元丹沢の杉、桧を使い、伝統構法で手刻みした『埴の湧の家』の工事も着々と進行しています。現在、内部造作工事に取り掛かっています、3月中には大工工事が終了し、仕上工事に入る予定です。

完成現場見学会は、
5月12日(土)・13日(日)

に予定しています(日にちは変更する場合があります)。また、ご希望のお客様には、建築中の現場も随時見学が可能となっておりますので、ご希望の方はメール・ファックスでお申し込み下さい。

ご住所

お名前

- 1.メールで配信してほしい
- 2.郵送してほしい
- 3.配信・郵送を停止してほしい

希望番号

メールアドレス uchida@miyadaiku.jp
ファックス 0463-93-6591
(ファックスの場合はそのまま送信下さい。)
新規配信郵送や配信方法変更を希望される方は
メール・ファックスにてお知らせ下さい。